

Case2

#16 抜髄

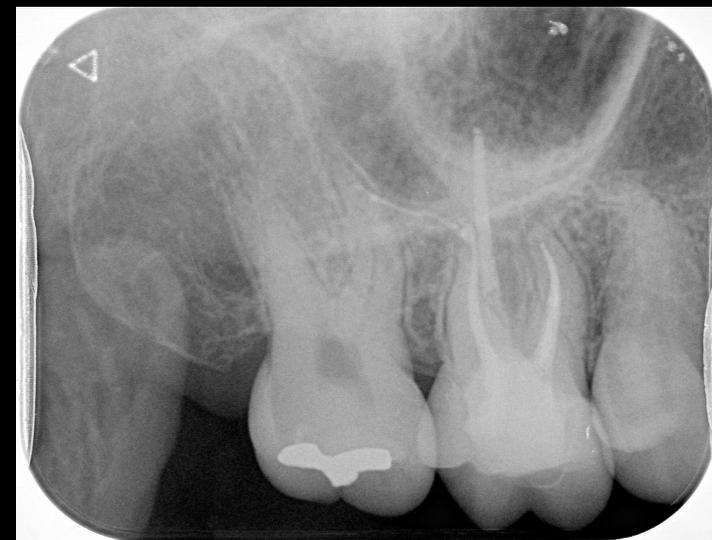
術前



根管充填

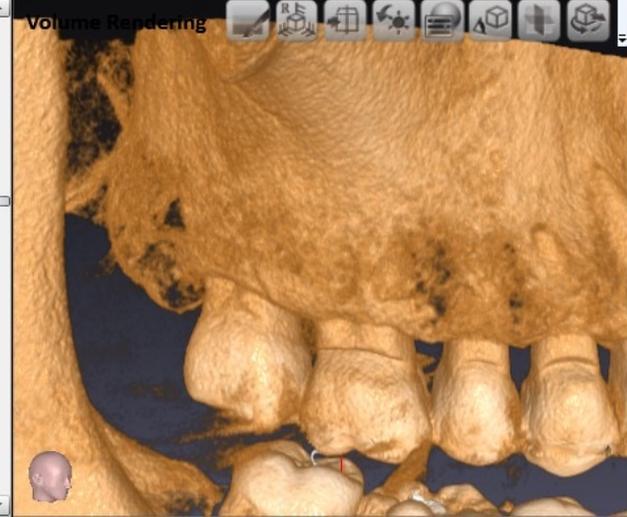
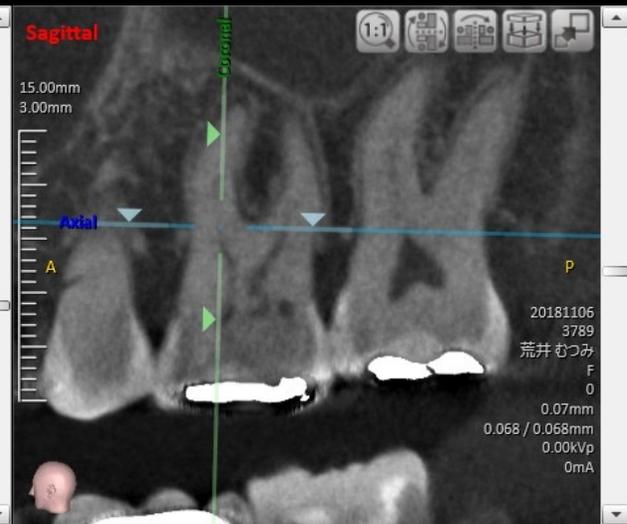
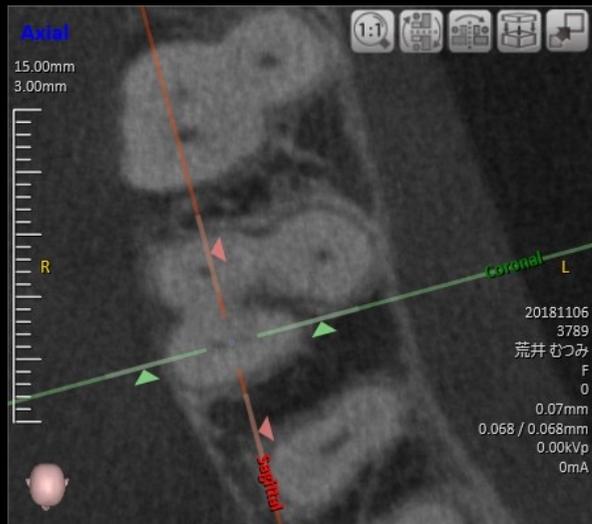


補綴後



歯冠部破折によって歯髄に炎症を生じたため顕微鏡とラバーダムを用いて抜髄を行い精密なセラミックを装着した

CT画像



#16 抜髄

支台歯形成



セラミック装着



顕微鏡を用いて支台歯形成を行い細菌が侵入しにくい精密な適合のセラミックスを装着した

## 治療内容

奥歯で咬むと痛みとしみる症状があるとのことで来院。診査すると咬合面にアマルガムが充填されておりその周辺に多数のクラックが認められた。レントゲンからはカリエス所見が見られなかったためクラックが歯髄に近接し咬む力でクラックが裂けるようになり冷たいものがしみていますと診断。歯周ポケットは深くないので抜髄処置で対応した。

術前CTからは歯根形態を把握し、マイクロスコープ・ラバーダムによる無菌的環境で抜髄を行った、クラックは歯髄に達しており、さらに深く入っていたが歯周組織に達するものではなかった。2回目に根管充填、ファイバーコアにて内部封鎖を行い、3回目に精密セラミックスを装着するためマイクロスコープにて支台歯形成、印象を行い4回目にセラミックスを装着した。

## 治療期間

一回の治療（1～2時間） 1か月半

## 費用の概算

マイクロエンド 13万2000円 / ファイバーコア 2万2000円  
仮歯 6千600円 / セラミック冠 16万5000円（全て税込み）

## 治療後の経過

処置後数日で痛みは消失した。セラミックセット後も普通にかむことが出来1年に1回の定期チェックを行っている。

## 主な副作用

歯牙内部に多数のクラックが入っているため将来歯根破折を起こす可能性があるため定期的なチェックが必要